

行動日誌 (2019年8月~11月主なもの)

8月5日・○議会運営委員会 犬山市議会視察
 6日・○議会運営委員会 岩倉市議会視察
 19日・○総務建設委員会 尾張旭市視察
 20日・○総務建設委員会 各務原（かかみがはら）市視察
 22日~■自治体議員政策情報センター高松研修会（会派）
 27日・○8月定例会 本会議
 9月4~5日・○一般質問
 7日・□こどもを守る文化会議
 9日・○本会議
 10日~○総務建設委員会・分科会
 13日・○議会だより編集委員会
 15日・□敬老会
 17日・★障がい者支援施設光陽荘 視察
 19日・○市民と議員の意見交換会
 25日・○予算決算特別委員会・議会運営委員会
 27日・○本会議最終日
 28日・□全矢崎労働組合大浜支部集会・大東支部集会
 29日・□藤田鉄工労働組合定期大会
 30日・○議会だより消防団インタビュー
 10月1日・○議会報告企画委員会
 3日・○瑞浪超深地層研究所視察（岐阜県瑞浪市）
 09日・★横地小学校ICT研究会
 14日・★県内女性議員を増やす なないろの風ミーティング
 15日・★掛川市中部ふくしあのびルーム視察
 16日・□小笠地区慰霊祭
 18日~□菊川地区祭典
 23日・★地方議員研究会研修 財政質問のポイント（東京）
 ★マニフェスト大賞授賞式打ち合わせ（東京）
 25日・★発達障害のこども達講演会（東京）○大風19号被害報告
 26日・□上倉沢せんがまち棚田稻刈り
 27日・★ゆめ・まちネットTEACCH報告会（富士市）

28日・○中東遠看護専門学校組合議会
 29日・○定例全員協議会
 30日・★川崎市こども夢パーク視察（川崎）
 11月1日・★学校教育課・こども未来部調査
 ★小笠南小学校プログラミング教育見学
 7日~8日・★マニフェスト大賞研修大会・授賞式（東京）
 14日・○議会運営委員会
 ★地方議会活性化シンポジウム2019（東京）
 ○議会活動 □行事 ★個人活動調査・研修 ■政務活動費活動

12月・1月予定（抜粋）
議会予定 2019年11月25日 ~2020年1月31日

11月25日・議会運営委員会
 28日・定例全員協議会
 29日・令和元年度12月議会本会議 議案説明
 12月4日・一般質問登壇
 5日・①生涯を通じての発達しうる支援の必要性
 ②小中学校のICT教育の方向性
 9日・本会議・総務建設委員会・分科会
 10日・議会報告企画委員会
 17日・予算決算特別委員会
 20日・本会議 委員長報告・質疑・討論・採決
 議会運営委員会
 1月9日・なないろの風キャラバン
 23日・なないろの風 講演会
 27日・議会運営委員会
 30日・定例全員協議会

ほれぼれまめ活動

みんなの居場所 幸せ空間 アルモニー
 不登校のお悩みをお話会 発達しうる支援お話し会も 定期的に開催します
 【毎週金曜日】手作りコロッケと草笛のパンを販売
 【第4火曜日】7:00~ 糜モーニングとご近所サロン
 【12月1日~】こども食堂がスタート

菊川市半済 1183-8 080-9494-6208

和田公園再生化研究会の皆さんと 「川崎市こども夢パーク」の視察へ行ってきました

「川崎市子どもの権利に関する条例」をもとにつくった施設です。夢パークは子ども達が安心してありのままの自分でいられる場で居場所として存続するように支えている多くの大人たちの姿があります。夢パークでは子どもが「やりたい」と思ったことにチャレンジできるように、できるだけ禁止事項をつくらないで「自分の責任で自由に遊ぶ」ことを大事にしています。夢パークは子どもの「やりたい」気持ちを軸に毎日変わっていきます。この中でも、水や泥で自由に遊べる、外のスペースは自分達で作り楽しく自由に遊べる場として素晴らしいものでした。



編集・発行 菊川まちづくりフォーラム 倉部みつよ後援会

〒439-0018 菊川市本所1420-8

TEL/FAX : 0537-35-2781

メール : kurabe324@gmail.com



菊川市議会議員
倉部みつよ

ちょうどいいまち菊川のまめまめ通信

まちをつなぐ みんなをつなぐ 世代をつなぐ

令和元年度は菊川市制15周年、私が東京から生まれ育った菊川へ戻って約20年。市議会議員としては、早いもので2期目の3年目も2ヶ月少しつなりました。

9月議会では平成30年度決算認定審査（一般会計の歳出決算額187億1,472万5,105円）を終え、10月からは、消費税増税、3~5歳児クラスの幼稚園・保育所等の利用料の無償化など新しい制度もスタートし、世の中はめまぐるしく変化しています。

そのような中、先の台風19号は各地に大きな被害をもたらしました。菊川市内でも床下浸水123件、床上浸水24件、崖崩れ、農業の被害など様々な被害を受けましたが、河川の決壊等でさらに大きな被害を受けられた地域が広範囲に渡りました。被害に遭われた皆様へ心よりお見舞いを申し上げます。近年、地球温暖化が進む中、雨の降り方が局地化、集中化、激甚化しています。被害を最小限にするためには、施設整備による対策だけでなく、ソフト対策との組み合わせが重要で、防災関係機関（国、地方公共団体、企業、市民の自治会防災組織等）が連携して災害時に発生する状況を予め想定、共有した上で、「いつ」、「誰が」、「何をするか」に着目して、防災行動とその実施主体を時系列で整理した計画（タイムライン）の策定が急務です。各ご家庭でも地震だけでなく、風水害に対しても、どのタイミングでどの避難所へ避難するか、家で安全を確保して過ごすのかなど、日頃から決めておいて、ご家族はもちろんで近所や自治会で共有しておくことが必要です。



五丁目下西側の様子

令和元年度9月議会 今回のテーマ 「市民協働につながる広報広聴とは」

菊川市は、市民と行政の協働によるまちづくりに取り組んでいる。協働の中でも行政の力をより発揮してもらいたい部分が「広報」。

これからは、単なる行事や制度のお知らせではなく、市民とまちづくりを行うパートナーとして理解、協力、信頼を得る手段としての広報広聴体制を目指さなくてはならない。

Q 広報手段はホームページ、広報きくがわ、Facebook、Instagram、チャコちゃんメール、きくすぐアプリ、報道機関への情報提供など様々なものがある。市民が取材・広報依頼をしたいときのルールは決まっていて周知されているか。

A 庁内の担当課窓口となり、取材依頼及び情報発信資料が秘書広報課に提出される。

きくすぐアプリのイベント情報には市民から寄せられる子育て支援に関するイベント情報を確認の上掲載していきたい。

Q 広報広聴に対する職員全体の意識の啓発、広報担当者との検討協議は。

A 広報・ホームページ委員会を組織している係長以上が選出され、各所属内の情報を積極的に拾いあげている。

Q マスコミ対応は。

A その事業の概要や開催日時、タイムスケジュールなどの詳細、撮影に適したタイミングもお知らせしている。

Q 広報に力を入れ実績を出している市町も増えている。子育て世代のママ記者制度や外国人向けのSNS、Twitterでの市民からの情報収集、東名高速の陸橋へのブランドメッセージ横断幕など新しい試みへのチャレンジ。



A 魅力発信の点では市民の情報発信力は有効である。市民向けの写真講座の開催等、市民の目を通した魅力発見、情報発信をファン獲得に繋げていきたい。Twitter、LINEについても検討してみたい。

※この答弁の中で知りましたが、2012年から菊川市のホームページに「あなたが知る菊川市の魅力大募集」というコーナーがあるそうです。是非、ご意見をお寄せ下さい。

菊川市の魅力 検索

他に「会計年度任用職員制度導入と、共に職員の働き方を考える」について質問しました。

一般質問は「菊川市議会のホームページ」で録画・議事録がご覧になれます。

菊川市議会 検索

3年間の質問で取り上げたテーマ

H29(2017)年度

子育て窓口・待機児童対策・キャリア教育・口腔ケアで健康づくり
未来を担う若者の政治参加のきっかけづくり・特定健診 CKD 糖尿病予防・人権の尊重 LGBT 性的少数者への理解を・市民目線の防災対策（熊本地震視察から）・市民協働行政の役割・新規事業の進捗状況・菊川市シティプロモーション・小中学校教職員の働き方から考える課題・発達生涯学習支援学習障害 LD 対策

H30(2018)年度

協働の指針・公共交通網計画・シティプロモーション・多文化共・ユニバーサルデザイン・家庭教育学級の在り方を考える・待機児童対策と保育の質・協働の指針策定と 1%交付金の見直し・小中学校暑さ対策と今後の対策・産前産後ケアの充実で子育て支援・共生社会手話の普及・DV 被害防止・支援策を見直す・温暖化対策とともにこれから持続可能な公共施設を考える

H31・R1(2019)年度

真の市民協働とは・無作為抽出の市民参加・ふるさと住民票・学びの庭構想への市民参加・外国人との共生・菊川市の子育て政策を考える・教職員の働き方改革の現状と課題・会計年度任用職員制度導入・市民協働につながる広報広聴とは

次の12月議会では 発達しうる支援について質問します

発達しうる支援とは、生まれつきの脳機能の発達のか偏りによるしうる支援。得意・不得意の凸凹（でこぼこ）と、その人が過ごす環境や周囲の人との関わりのミスマッチから、社会生活に困難が発生します。外見からは分かりにくく、その症状や困りごとは十人十色。その困難さは、環境を調整し、特性に合った学びの機会を用意することで、軽減されるとされています。早期から適切なサポートをしていくことが大切ですが、現在、菊川市では、幼稚期から就学期そして大人まで発達しうる支援について相談できる更なる切れ目のない支援体制が必要なことから質問をします。

議会での委員会活動

総務建設委員会

みどりの基本計画・みどりのまちづくりについて調査研究中

市民ネット会派長

提案型議員を目指し研修を重ね毎回質問とその後のチェックを行う。

議会運営委員会副委員長

本会議・委員会の後に委員会を開催しタイムリーな運営の確認を。

議会改革推進委員会副委員長

傍聴規則の見直し、議員間討議を深める体制等検討中。

議会報告企画委員会委員長

今年度報告会で出された市民意見をまとめ市政へ反映。

議会だより編集委員会委員長

特集で消防団との意見交換 読みやすい紙面づくり推進中。

お知らせ

県内女性議員を増やす会「なないろの風」

「ここが変だよ地方議員」著者 元川崎市議小田理恵子氏講演会
1月25日(土)午後 (予定)静岡ペガサートにて

なないろキャラバン in 御前崎開催予定 女性議員の本音トーク&地域課題意見交換会
1月8日(水)10:00~12:00 諸の交番にて



子育ての困ったをなくす わたしたちのまちと人を ステキにする みんなの健康を創る

菊川市を含むこれから的地方自治体の主な課題は、少子高齢化、人口減少、環境対策、地域経済の変化対応、高度情報化の進展など、総合すると各々の市町、地域で持続可能なまちづくりに早急に対応していくかなくてはならないという点です。これからの行政運営は、理想の数字を求め続けることなく各地区の課題、現実をみつめ、行政、学校、自治会などそれぞれの分野でお互いに対話を重ねた上で事業をやめる、統合する、新たな仕組みを作り出すという決断が求められます。それを皆が理解した上で実現していくには市民が行政だけでなく自分で考え、決め、実行できる環境づくりが必要となってきます。こどもからお年寄りまでみなさんがまちの良さを認知し、市政に関心のなかった人々がまちのことに関心もち、課題解決を自分事としてまちづくりに参加していくという市民自治

関口隆吉銅像設置工事現場

市民の歴史認識向上、こども達への歴史伝承、他市と連携した観光事業などへ展開が望まれます。



完成間近の庁舎東館

多くの市民の声を取り入れた賑わい創出事業の起点として、誰もが利用できる施設となるよう期待します。



まめまめ視察

自治体議員政策情報センター 高松視察へ会派で参加

「高松丸亀町商店街」中心地のドームの回りには GUCCI などの高級ブランド路面店が軒を連ねる。高松市の中心部に位置する、総延長 2.7km の商店街。店舗数は 157、組合員数（出資者）は 104 人。400 年余りの歴史を誇る全国でも有数の商店街が、バブルで空洞化が発生。高齢者の「医食住」をテーマに商店街の上部にはマンション。バリアフリーのまちを歩いてコト足る利便性。日用品を買う店があり、医療モールはかかりつけ医として機能。現在 1000 人余りが生活している。16 年かかる再開発の肝は、土地の使用権と所有権の分離。この再開発は、「法律の柔軟な解釈を引き出す」ことで、前に進んだ。商店街の道路部分は市の土地。公道にベンチや鉢植えを置くのは道交法やその他の法律によって禁止されているが調査をすると、商店街には休憩できるスペースがないから行きたくないという声がある。そこで建物をセットバックして、民地を道路の一部として提供。もちろん、固定資産税は負担。税金を払いその土地を公のために抛出する見返りにベンチや鉢植えも置いている。まちづくりをする時は、コンセプトをしっかりと対話をし、考え、知恵と気持ちと負担も出し合って進めていくことが必要です。

